

抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 年 月 日 20. 4. 16		
申請者	所属科:外科	医師名:石田秀之	印
抗がん剤プロトコール内容			
略名	FP		
適応臓器名	治癒切除食道癌(術前および術後)		
薬剤名	フルオロウラシル注射液(商品名:5-FU 注) シスプラチン製剤(CDDP)(商品名:ランダ注)		
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。		
用法・用量・投与スケジュール			
4週を1コース。			
シスプラチン CDDP 80 mg/m ² day 1			
フルオロウラシル 5-FU 800 mg/m ² day 1-5 24時間持続点滴静注			
<ol style="list-style-type: none"> 1) 5-FUとして1回 800 mg/m²(体表面積)を24時間かけて1日目から5日目に持続点滴静注する。 2) 前投薬:5-HT₃受容体拮抗型制吐剤+デカドロン 8-20mg 3) シスプラチンとして1回 80 mg/m²(体表面積)を2時間かけて点滴静注する。 4) 水分負荷:CDDP 投与前 1000-2000 ml の輸液を4時間以上かけて投与する。 CDDP 投与时 500-1000 ml の輸液を2時間以上かけて投与する。 CDDP 投与終了後 1000-2000 ml の輸液を4時間以上かけて投与する。 5) CDDP 投与中は、尿量確保に注意し、必要に応じてマンニトール及びフロセミド等の利尿剤を投与すること。 			
Evidence	臨床試験 ① 食道癌術後化学療法(CDDP+5FU)の無作為化比較試験(第III相)(JCOG 9204)。 文献 ① Phase II evaluation of cisplatin and 5-fluorouracil in advanced squamous cell carcinoma of the esophagus: A Japanese Esophageal Oncology Group Trial (Iizuka T, et al. Jpn J Clin Oncol 22:172-176, 1992)。		
備考			
がん化学療法委員会承認日: 20. 4. 21			